

2015 大韓土木学会(KSCE)年次大会参加報告

今年も大韓土木学会（KSCE; Korean Society of Civil Engineers）より、日本の土木学会（JSCE）に対して、年次大会である **KSCE 2015 Convention** にご招待いただいた。JSCE からは、廣瀬会長、京都大学間瀬教授、国際センター国際交流グループの韓国グループメンバーである白氏（株式会社社長）、勝濱の4名が、韓国全羅北道群山（グンサン）市で開催された大会に参加した。

なお、今回の年次大会の機会を利用して、アジア土木学協会連合協議会（The Asian Civil Engineering Coordinating Council; ACECC）の理事会も同じ会場で開催された。JSCE からは、ACECC 理事会についても別途参加者を派遣している。

今回の訪韓の機会を利用して、JSCE 韓国分会のメンバーとも交流の機会を持った。以下の表に JSCE 訪韓団の主な行程を示す。

《JSCE 訪韓団の主な行程》

日付	内容
10/27(火)	JSCE 韓国分会訪問、懇親会実施（ソウル泊）
10/28(水)	群山に移動、Welcome Reception 参加（群山泊）
10/29(木)	・セマングム（新萬金；Saemangeum）プロジェクト 見学 ・CCAW-ACECC International Seminar 参加 ・KSCE-JSCE ミーティング、Banquet（群山泊）
10/30(金)	群山よりソウルに移動、帰国

JSCE 韓国分会は、ソウル市江南区に事務所を構えており、分会員の交流拠点になっている。また、同分会では SNS アプリである BAND を用いた交流を行っている。金在權会長には、世界最大規模の 33km におよぶ防潮堤を有するセマングムプロジェクト見学の便宜も図っていただき、大変お世話になった。

CCAW-ACECC International Seminar では、水資源分野における気候変動適応策について議論が行われ、JSCE からは、間瀬教授が” Analysis of seawall stability and adaptation method for climate change” と題してプレゼンテーションを行った。

KSCE-JSCE ミーティングでは、JSCE が提案して、今回の ACECC 理事会で設立が承認された減災・防災に関する新たな技術委員会（Technical Committee; TC）や、アジア土木技術国際会議（Civil Engineering Conference in the Asia Region ; CECAR）における協力、支部間交流の活性化、JSCE と KSCE 会員特典の相互利用などについて意見交換を行った。

Banquet では廣瀬会長が挨拶を行い、招待に対するお礼と、長年続いている KSCE-JSCE 間交流の更なる進展に対する期待について述べるとともに、ACECC の新 TC への協力を各国からの参加者に呼び掛けた。



KSCE-JSCE ミーティング



セマングムプロジェクト見学

【記：土木学会 会員・企画課 勝濱良博】